

特別企画：「食品主要 105 社」価格改定動向調査（11 月）

今日から値上げ 「パック牛乳」など 833 品目

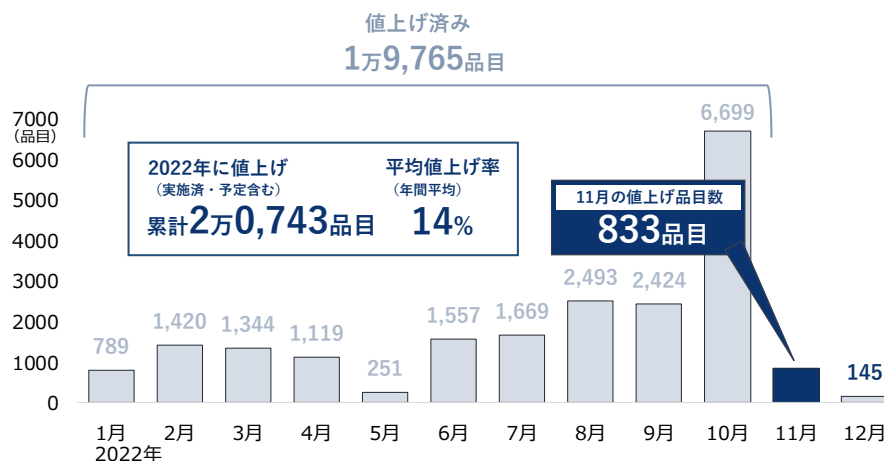
～ 来年値上げ、早くも 2000 品目超え 円安要因 ～

牛乳など日配品の値上げで、消費者の「インフレ実感」一気に鮮明化へ

約 6700 品目に上る食品で値上げが行われた 10 月以降、高まりつつある消費者のインフレ実感は、11 月以降値上げされる「パック牛乳」など日配品の値上げにより、一気に鮮明化するとみられる。ただ、年内の「値上げラッシュ」は 10 月を最大の山場としてピークアウトしているほか、12 月の値上げもゼリー類など局所的なものにとどまる。そのため年末まで当面の間、消費者生活面では新たな値上げから遠ざかる見通しとなる。

足元では 1 ドル 150 円前後で推移する円安局面のなか、来年の値上げ予定品目数は早くも 2000 品目を超え、その多くで「円安」が要因として挙げられている。今後も大きく引き上げられる予定の電気・ガス代など、コスト上昇圧力が解消される望みは当面薄いなか、来年 2～3 月をピークに「値上げラッシュ」が再来する可能性が高い。

2022 年の食品値上げ（10 月 31 日時点）品目数/月別



[注] 調査時点の上場105社の2022年価格改定計画。実施済みを含む。品目数は再値上げなど一部重複を含む

[注] 品目数および値上げは、各社発表に基づく。また、年内に複数回値上げを行った品目は、それぞれ別品目としてカウントした。値上げ率は発表時点における最大値を採用した。なお、価格据え置き・内容量減による「実質値上げ」も対象に含む

株式会社帝国データバンク 情報統括部長 上西 伴浩

【問い合わせ先】 飯島 大介 03-5919-9343 (直通) daisuke.iijima@mail.tdb.co.jp

情報統括部：tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

牛乳中心に 833 品目で値上げ 半年ぶり 1000 品目割れも、昨秋の 2 倍と高水準

「値上げラッシュ」の大波は過ぎたものの、11 月も多くの食品が値上がりする。上場する主要飲食料品メーカー105 社における、2022 年以降の価格改定計画（値上げ、実施済み含む）を調査した結果、10 月末までに累計 2 万 743 品目の値上げが判明した。このうち、11 月単月の値上げは 833 品目となり、年間で最も多かった前月（10 月：6699 品目）の約 1 割にとどまったほか、5 月（251 品目）以来半年ぶりに 1000 品目を下回った。年内に計画された値上げのうち 9 割超が 10 月までに値上げ済みで、今年の「値上げラッシュ」は既に峠を越えている。ただ、油やパン製品などが集中的に値上がりした昨秋の約 300 品目に比べると 2 倍超に達しており、例年と比較すると引き続き「値上げラッシュ」といえる状況は続いている。価格改定率（各品目での最大値）は平均で 14%に達し、原材料高や急激に進んだ円安を反映した夏～秋以降の大幅な価格引き上げが、全体の値上げ率上昇を招く要因となった。

値上げ率平均のうち、11 月単月では 15%だった。既に値上げが済んだ 1～10 月を含めた年内 11 カ月のうち、9・10 月の 16%に次いで 3 番目に高い水準だった。春先から続く小麦や食用油価格の上昇に加え、原油高に伴う包装資材や容器、物流費の高騰、今夏から急速に進行した円安水準などが重なり、食品分野を問わず大幅な価格アップに踏み切るケースが多かった。

生乳価格上昇でパック牛乳などが一斉値上げ 心理的なインパクトは年内でも有数の大きさに

11 月の値上げ品目が最も多い食品分野は調味料の 338 品目で、単月（833 品目）の約 4 割を占めた。焼肉のたれ、だし製品といった種類の品目で値上げが多く目立つ。次いで多いのが乳製品で 318 品目だった。乳製品の値上げとしては、チーズやバターなどの値上げが相次いだ 4 月（395 品目）に次いで、年内 2 番目の多さとなる。飼料価格の高騰を背景に飲用・発酵乳用途向けの生乳取引価格、ホエイなど輸入原料乳価格が上昇したことで、パック牛乳やヨーグルト製品、乳幼児向けの粉ミルク製品などで一斉に価格が引き上げられる。特に、乳製品の値上げで中心となる「パック牛乳」は、消費期限が短いいため買いだめができず、また購入頻度も高いため、値上げによる消費者の心理的なインパクトは年内でも有数の大きさとなることが予想される。

年間で最も多いのは加工食品で 8536 品目。次いで調味料（4808 品目）、酒類・飲料（3977 品目）などが続いた。乳製品（1033 品目）は、今年に入り 11 カ月目で年内累計 1000 品目を突破した。

主な食品分野 価格改定の動向

	加工食品	調味料	酒類・飲料	菓子	乳製品
品目数（年間）	8,536	4,808	3,977	1,342	1,033
11月に値上げ	128	338	7	35	318
値上げ率 年間平均	16%	15%	15%	13%	12%
原因	水産品・食肉 物流・包装資材 円安	水産品・砂糖 物流・包装資材 円安	PETボトルなど容器 価格の上昇 円安	ジャガイモ・砂糖 物流・包装資材 円安	飼料価格上昇による 生乳価格の引き上げ
主な品目	ジャム類 即席みそ汁 離乳食 など	マヨネーズ・ドレッシング だし製品 焼肉のたれ など	甲類焼酎・チューハイ ビール・発泡酒 炭酸飲料 など	キャンディ類 スナック菓子 せんべいなど米菓類	乳飲料 牛乳・ヨーグルト 粉ミルク類